

# 超高齢社会 における加齢観の刷新による 社会的孤立・孤独 の一次予防

事前  
申込申込  
無料

生涯学のエキスパートによるクロストークから学ぶ

高齢者の社会的孤立・孤独は、さまざまな疾患のリスク因子となっており、孤立・孤独を生まない体制や社会の構築は喫緊の課題と言えます。2022年よりJST-RISTEX SOLVE for SDGs 社会的孤立枠では、「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」がスタートいたしました。このプロジェクトは、高齢者が新たなつながりや生きがいを見つけられる居場所（コミュニティ・シェッド）を立ち上げ、その効果を心理学・脳科学などに基づき検証するものです。世界では「メンズ・シェッド」という名で知られており、10万人以上の利用者がいるとされます。一方、高齢者がコミュニティ・シェッドで生きがいを見つけ躍動する姿は「高齢者は衰退するのみ」という旧来の加齢観から大きくかけ離れており、この姿を科学としてどのように捉えるべきかについては議論の余地があります。そこで本シンポジウムでは、学術変革領域研究(A)生涯学の創出—超高齢社会における発達・加齢観の刷新（「生涯学」）のメンバーをお招きし、社会学や心理学・脳科学など多様な側面から生涯学が積み上げてきた「多様な成長と変容を繰り返すプロセスとしての加齢」という捉え方を学び、コミュニティ・シェッドにおける高齢者のいきいきとした姿が生涯学の観点からどのように解釈可能であるか議論します。

【講演1】(14:10-14:35)

月浦 崇先生

(京都大学大学院人間・環境学研究科・教授、生涯学領域代表者)

【生涯学】の創出へ向けて  
—超高齢社会における加齢観の刷新をめざす学際的研究—

【講演2】(14:35-15:00)

寺本 渉先生

(熊本大学大学院人文社会科学研究部・教授、A01 知覚・認知心理班(認知心理学)代表者)

高齢期における多感覚統合の変化と知覚の可塑性

【講演3】(15:00-15:25)

筒井 淳也先生

(立命館大学産業社会学部・教授、B01 高年社会参加班(社会学)代表者)

高齢期における孤独・孤立の実態と要因：社会学の観点から

【講演4】(15:40-16:05)

倉田 誠先生

(東京医科大学医学部・准教授、C02 ヒトモノ班(文化人類学)代表者)

「やらない」ことが／を生み出す社会関係：サモアの事例から

【講演5】(16:05-16:30)

石井山竜平先生

(東北大学教育学研究科・准教授、D01 社会教育班(教育学)代表者)

社会実装にむけての土壌形成を考える

(16:05-16:30)

総合討論

※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」研究開発プロジェクトにて実施するものです。（ Grant番号：JPMJRS22K3）

日時

2023年

12月23日 土

14:00～17:00

対面会場

東北大学

文科系総合研究棟(C14)

11階大会議室(募集定員：最大80名程度)

オンライン

Zoom webinar

(募集定員：最大1,000名)

司会

伊藤 文人

(東北大学大学院教育学研究科・講師、JST-RISTEX伊藤PJ代表者)

お申し込み

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeY-KI3SNIWeSV4Y6VsATMB3dV-B3B9j0DLQfzkVG8Nppy0lsg/viewform>



参加申込締切

12月8日 金 12:00